

# 性と生殖の健康科学

ナンバリング:N3-S2-L06

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 淳美		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、看護専門基礎、看護学部、産婦人科学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

性と生殖をめぐる健康に関する課題と多職種と連携した支援の実践について学修するとともに、助産師の役割について考察する。具体的には、不妊症、遺伝相談、出生前診断、婦人科疾患、更年期障害について学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

医療の高度化、複雑化の進行に伴い、山積する性と生殖をめぐる健康に関する課題を理解することで、助産師として母子を支援する能力を養う。また、多職種の専門性を尊重した適切な役割分担について理解できる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

## ・到達目標(SBO)

1. 妊娠、出産、育児期の母児(子)とその家族の健康を保持増進するために必要な助産師の役割について説明できる。
2. 女性のライフサイクル各期における健康課題について列挙できる。
3. 女性のライフサイクル各期における健康の保持、疾病予防のために必要な助産ケアについて説明できる。
4. 性と生殖に関連した社会動向の変遷から、女性の意思を尊重した助産ケアについて述べるができる。
5. 多様な価値観・信条や生活背景を持つ人を尊重する行動を列挙できる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：マルチ4A講義室、マルチ3-A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/9 水 2限	<p>【授業内容】女性の性と生殖の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレコンセプションケアの概念を述べるができる</li> <li>・女性の性(産む性、産めない性、産まない性)の選択について説明することができる</li> <li>・ライフサイクル全体を通した性と生殖への健康支援について述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3.4</p> <p>【事前学修:30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産学講座2 P74-77「性交と性反応」を読んでから授業に臨む</li> </ul> <p>【事後学修:120分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクル全体を通した性と生殖への健康支援として助産師の役割を200字程度にまとめて提出する</li> </ul>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
9/9 水 5限	<p>【授業内容】母子感染のリスクのある妊婦への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子感染の機序、診断・治療と予防について理解できる</li> <li>・助産師が母子感染を理解すべき理由を述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1.2.3</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産学講座2 P174-196、207-208を読む</li> <li>・WebClass上にアップされた国家試験の過去問を解いてから講義に臨む</li> </ul> <p>【事後学修:120分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義を通して、助産師が母子感染を理解すべき理由を約400字以上にまとめて提出</li> </ul>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

9/14 月 2限	<p>【授業内容】女性のライフサイクル各期におこる疾患①/思春期・成熟期  ・月経の異常について理解できる  ・女性アスリートのヘルスケアが理解できる  【関連するSBO】1.2.3  【事前学修:90分】  ・WebClass上にアップされた国家試験の過去問を解いてから講義に臨む  【事後課題120分】  ・性周期に応じた体調管理への支援として助産師の役割を約800字にまとめて提出</p>	産婦人科学講座 岩動 ちづ子 助教
9/15 火 3限	<p>【授業内容】女性のライフサイクル各期におこる疾患②/更年期・老年期の疾患  ・更年期の定義と更年期障害を述べるができる  ・更年期・老年期の疾患の予防として助産師ができることを考察できる  【関連するSBO】1.2.3  【事前学修:60分】  ・WebClass上にアップされた国家試験の過去問を解いてから講義に臨む  【事後学修:120分】  ・更年期・老年期への健康支援として助産師の役割を約800字にまとめて提出</p>	産婦人科学講座 馬場 長 教授
2/3 水 1限	<p>【授業内容】受胎調節指導と家族計画（講義・グループワーク）  ・受胎調節指導の基礎とプロセスについて理解できる  ・避妊法の種類と特徴について説明できる  ・ライフステージ別の受胎調節指導について説明できる（グループワーク）  【関連するSBO】2.3.4  【事前学修:90分】  ・助産学講座1 P143-144、助産学講座7 P286-287ならびに  ・9/9の講義資料を読み、産後の家族計画に関する留意点について考えてくる  【事後学修:180分】  ・ライフステージ別の受胎調節指導のワークシートの提出</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/3 水 2限	<p>【授業内容】生殖補助医療の実際と問題点  ・不妊症・不育症への支援について述べるができる  ・生殖補助医療の実際について説明できる  ・当事者の意思決定支援について述べるができる  【関連するSBO】2.3.4  【事前学修120分】  ・助産学講座2 P136-149ならびに、事前に提示された動画を視聴し、生殖補助医療における助産師の役割をまとめる  【事後学修:90分】本日の講義を要約する</p>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
2/4 木 5限	<p>【授業内容】出生前診断と遺伝カウンセリング  ・出生前診断の概念・目的の他、各種検査の特徴を説明できる  ・出生前診断における遺伝カウンセリングの実際について説明できる  【関連するSBO】2.3.4  【事前学修:60分】  ・助産学講座2 P113-125ならびに、こども家庭庁「最近の母子保健を取り巻く状況」出生前診断に関する資料を読む  【事後学修:180分】  ・本日講義内容と教科書P126-134を読んで、助産師として出生前診断どのように関わっていくか、自分の考えを約400字以上にまとめて提出</p>	看護学部 三浦 史晴 非常勤講師
2/8 月 3限	<p>【授業内容】性の多様性とジェンダー・セクシュアリティ  【関連するSBO】4.5  【事前学修:90分】  ・助産学講座2 P67-69, 81、助産学講座4 P20-24を読み、ジェンダーアイデンティティについて要約する  【事後学修:180分】  ・本日の講義を聞いて「性の多様性を持つ人を尊重する行動について」考察し400字～800字程度にまとめて提出</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 第6版第5刷	我部山キヨ子 他 編	医学書院	2025
教	助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山キヨ子 他 編	医学書院	2023
教	助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 第7版	堀内成子 編 他	医学書院	2026
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 第7版	我部山キヨ子 他 編	医学書院	2026
参	ヒューマン・セクソロジー 生きていること、生きていくこと、もっと深く考えたい 改訂新版	狛潤一 他	子どもの未来社	2020
参	家族計画指導の理論と実際 超少子社会における新しい家族のあり方を求めて第3版	西藤まき子、木村好秀、古賀文敬	医学書院	2025
参	最近の母子保健を取り巻く状況 こども家庭庁	こども家庭庁	こども家庭庁	2024
参	産婦人科診療ガイドラインー産科編2023(HPからダウンロードする)	日本産婦人科学会/日本産婦人科医会	日本産婦人科学会	2023

・成績評価方法

<p>【総括的評価】</p> <p>・レポート課題は、書式、提出期限などを確認してWebClassで提出すること。(提出期限は各講義の最後にアナウンスする)</p> <p>・事後課題の期限内の提出、内容(内容理解・論理的構成と考察力、表現・文字の正確さ)にて評価50%、定期試験50%</p> <p>【形成的評価】</p> <p>事前課題の取り組み状況を各回で確認する。</p>								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3.4	2.3		50					50
2.7	1.4.5			50				50
合計		0	50	50	0	0	0	100
<p>〈備考〉</p>								

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <p>課題はWebClassへ提出のこと。提出されたレポートは評価後適宜コメントを付し返却する。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>助産師(別表2):助産診断・技術学</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>大学病院等における医師、助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。</p>
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影